

ヤマザクラ通信

vol. 8

ヤマザクラ課（ヤマザクラグループ）

（☎58-5111・75-3111 内線1321）

市民協働によるヤマザクラ保全を目指して

自然観察からはじまる自然保護

昨年11月に市役所大和庁舎周辺で、公益財団法人日本自然保護協会と本市の共催による、自然観察指導員講習会が開催されました。

この講習会は、自然観察を通じて自然の素晴らしさを人に伝えるスキルを学び、自然保護を担うボランティアリーダーとなる人材を育成するプログラムです。

毎年全国各地で開催されていますが、今回の講習会は県内で16年ぶりの開催で、市内外から多くの受講者が訪れました。受講者は、日本自然保護協会の自然観察指導員として登録され、全国各地で自然の価値を伝え、仲間を広げる伝道師として活躍されます。本市では、日本一のヤマザクラの里を目指してまちづくりを進めています。人材育



自然観察指導員講習会に参加した受講者

成は最優先の課題でもありません。人材の育成なくしては、美しいヤマザクラや里山の景観を保ち続けることもできません。

今後は、自然観察指導員と協働して、市民向けの自然観察会や勉強会を開催しながら、自然に興味をもち、自然を守りたいという人材を育成し、継続的にヤマザクラや里山の保全に取り組んでいけるようま

ちづくりを進めていきます。

2019ツール・ド・さくらがわ開催決定！

「ツール・ド・さくらがわ」は、桜川市とその周辺地域の景観や町並みの魅力を感じながら長距離のサイクリングを楽しむことができるロングライドイベントです。

企画運営しているのはツール・ド・さくらがわ実行委員会。桜川市の自然の素晴らしさを知ってもらいたいという思いでボランティア活動を始めました。

今年で18回目を迎えるほど歴史があり、長年ファンから愛されているのは、自転車好きの実行委員会が考案する山あり平地ありの自然景観が美しいコースにあります。また、参加賞や景品で配られる地元の特産品も好評で、毎年約600人の参加者が集まり、そのほとんどがリピーターである人気イベントです。

このようなサイクルイベントは、近年全国的に実施されており、地域の魅力発信から観光促進において大いに期待が寄せられています。

特に地域の盛り上がりや受け入れが充実しているところ

は、自然とサイクリストが増えていく傾向にあるので、地域外から訪れる多くの参加者に、桜川市にまた来たいと思わせるようにみなさんと盛り上げていきましょう。



昨年行われた「2018 ツール・ド・さくらがわ」では、約600人のサイクリストが参加。

ボランティアを募集します

「2019 ツール・ド・さくらがわ」を一緒に盛り上げていただける方を募集します。

■期日／5月19日（日）

■募集内容／主要通過ポイントの立哨

■申込期限／4月15日（月）

■問合せ・申込先／ツール・ド・さくらがわ実行委員会事務局（☎0296-7014156）



通所介護（短時間・1日）リハビリテーション部
居宅介護支援（ケアマネジャー）

リハビリハート総合介護ケアセンター

理学療法士 本橋寛樹

介護のご相談・リハビリ無料体験ご送迎も可能

0296-73-6965

桜川市西桜川2-18-5(50号扱い) 曙實さん・茨城トヨタさんとなり

